

「データ利活用ビジネスのための政策・規制環境改善調査」の概要

- 近年急速に進む企業によるデータ収集・流通・利活用の状況、またこれに影響を与える諸規制について、多種多様な民間企業（12エコノミーの39社。運輸サービス、決済サービス、暗号化、製造業等）からヒアリング等で得た個社ベースの情報を、文献調査と併せて分析。（詳細次スライド）
- 近年導入が進む越境データ規制の具体例として、データローカライゼーション規制（データの保存・処理・海外持ち出し禁止）、知財開示要求（ソースコード開示要求を含む）、バックドア設置要求、特定暗号標準使用要求を列挙。また、これらの規制の導入目的として、データ保護・セキュリティ、雇用・投資促進、イノベーション、国内治安維持の観点を指摘。
- 上記規制の導入に伴うデメリットについて、以下を指摘。（括弧内は、これらの事項を指摘した企業の行っている事業）
 1. データローカライゼーションは、必ずしもデータセキュリティ対策と関連していない（データ分析サービス）。すでにセキュリティ対策を適切に導入している企業にとっては追加負担（電子商取引）。また、世界最高水準のセキュリティ対策を受けられないことから、かえってセキュリティが弱体化（決済サービス）。
 2. データローカライゼーションは、国内に最小限の継続雇用しか生み出さず、むしろ企業の市場参入意欲を減退させることから、雇用創出、投資促進には効果なし。
 3. 知財開示要求も、投資やイノベーションの促進意欲を減退させる（運輸）。
 4. 国内治安維持を達成するためには、データローカライゼーションやソースコード開示要求以外の方法も存在する。また、バックドアを設置した製品はハッキングに対して脆弱となる（暗号化サービス）。
- デジタル経済の恩恵を最適に実現するためには、より自由なデータ流通が不可欠であると述べた上で、企業への影響が比較的軽微で、データ保護・セキュリティ確保等の政策目的が達成できる施策（ミドルグラウンド・アプローチ）を例示。
 - ①工業・任意規格（ISO27001等）、②OECDガイドライン／APECフレームワークに整合的な国内法制、③強力で有効な執行により補完された軽度の規制、④GDPRとの十分性認定、⑤CBPR等の相互認証制度、⑥自由貿易協定（電子商取引章等）、⑦司法幫助協定等による国内治安向上

本調査で分析されている主な事例

1. 運輸/物流（顧客管理、運用支援）

- 1) フライトの予約や配送サービス、またそれに付随したサービス（レンタカー、レジャー）、特典プログラム提供（馬・エアアジア）
- 2) 自社所有の飛行機、港湾の運用情報、輸送中の貨物情報（馬・エアアジア、越・ナショナル SHIPPING サービス、星・UPS）

2. デジタルサービス/電子商取引（顧客及び製品の管理）

- 1) 自社が提供する製品・サービスに関する注文、在庫、配送状況及び顧客の個人情報（生体認証情報や金融情報等）
- 2) 広告製品（過去の購入履歴に基づくマッチングサービス）（比・センチ）

3. 決済サービス

- 1) 取引の捕捉、処理、承認及び取引情報の集約
- 2) 収集データの他の小売店への提供
- 3) 不正監視（同一名義人の購入履歴（地点、回数）から判断）

4. 暗号化サービス

- 1) 取引（モノ、サービス）時の個人情報等の秘匿性確保
- 2) 通信プライバシーの確保（電子メール、インスタントメッセージング、仮想プライベートネットワーク等）

5. 電子インボイス/デジタル貿易

- 1) 税金徴収（VAT、法人税、所得税）、売上金額の相互参照、給与情報に基づく個人所得税、社会保障費の把握
- 2) 通関業務、貨物のリアルタイム管理（星・UPS）

6. データ解析

- 1) 企業監査（AIにより財務データを分析）（加・マインドブリッジ）
- 2) コンサル事業（物流、マーケティング等の最適化推進）（墨・ポンデララボ）
- 3) 与信・インテリジェンスサービス（企業の財務情報、刑事記録、性犯罪履歴等を活用）（加・サートウン）

7. 消費者サービス

- 1) メーティングサービス（スマートメーターの設置、エネルギー使用データの監視・収集、小売業者へのデータの提供、ネットワーク管理）（比・エクソラ）
- 2) 医療コンサル（遠隔画像診断）
- 3) 遠隔学習（教材、答案データ）

8. 製造業（グローバルバリューチェーン下における製造業の各工程）

- 1) 製造前段階（デザイン、R&D、プロトタイプ）
 - ・断熱材、タイヤトレッドの深さ等の最適化追求
- 2) 製造段階（製造スケジュール管理、スベアパーツ製造等）
 - ・海外子会社等から提供されたデータを基にした生産計画策定
 - ・生産工程の稼働状況把握
 - ・植物工場（実験プラント）の遠隔マネジメント
- 3) 製造後段階（物流状況、販売状況、在庫確認）
 - ・運転データを基にした保険料設定